

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第1回)

I 調査の概要

調査対象期間(2013年3月～2013年6月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果をとりまとめたものである。回答数:1048件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「全期間固定型」の利用割合は25.4%に増加、「変動型」利用割合は43.5%に減少

- ・「全期間固定型」の利用割合は25.4%(前回調査[2012年11月～2013年2月:23.1%])に増加し、「固定期間選択型」も31.1%(前回調査:26.0%)と増加した。
- ・一方、「変動型」は43.5%(前回調査:51.0%)と減少している。<p.2>

2 今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は「現状よりも上昇する」が大幅に増加

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)については、「現状よりも上昇する」が45.1%(前回調査:35.0%)と大幅に増加し、「ほとんど変わらない」は40.4%(前回調査:53.3%)と大幅に減少している。<p.9>

3 住宅ローンを選んだ決め手は、圧倒的に「金利が低いこと」

- ・住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」とする回答が66.4%(前回調査:72.5%)と圧倒的に多いが、その影響力は前回調査と比べて低下している。
- ・大半の項目が前回と比べて低下している中、「将来の返済額を確定しておきたかったから」は上昇し、その順位は前回調査の8位から今回調査では3位へと上昇した。<p.14>